

2021年5月13日

各位

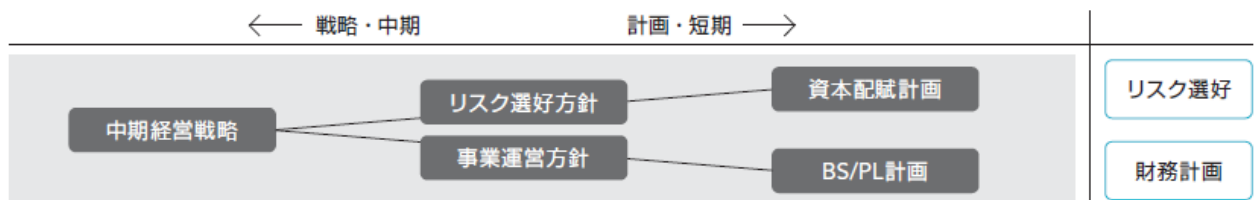
株式会社新生銀行

2021年度「新生銀行グループ リスク選好方針」の公表について

新生銀行グループは、グループのリスク選好の明確化と社員の共通理解の醸成を図ることを目的として、グループのリスク選好方針を策定しています。今般、本日の2020年度通期決算発表に合わせて、2021年度の「新生銀行グループ リスク選好方針」(以下、「本リスク選好方針」)の要旨を公表します。

新生銀行グループでは、リスクガバナンスの観点から、特にリスク選好に基づく適切な業務執行のための体制整備に力を入れ、リスク選好と財務計画の整合性を基礎とする統合的な経営管理フレームワーク(リスクアパタイトフレームワークに相当、以下「本フレームワーク」)を構築・運用しています。本フレームワークでは、リスク選好と財務計画の整合的な関係により、適切なリスクテイクが期待通りのリターンを生み、財務指標の改善につながる関係を目指しています。

■ リスク選好と財務計画の関係の概念図



また、本リスク選好方針(リスクアパタイト・ステートメント※に相当)は、本フレームワークをもとに、新生銀行グループにおけるビジネスライン別のリスクテイクのあり方を文書化することでリスク選好を明確化したもので、グループのすべての役員が業務の執行において、いかに判断し、行動すべきかを示しています。

足元では、新型コロナウイルス感染症の影響や環境・社会課題への意識の高まりなど、経営環境は大きく変化していますが、新生銀行グループではサステナビリティを経営の軸に据え、適切なリスク選好を実施しながら社会的責務を果たし、ニューノーマル(新しい常態)への対応を進めていきます。今後も、本リスク選好方針の継続的な見直しを含むリスクガバナンスの高度化を通じて、企業価値の向上と社会課題解決に向けたサステナビリティ経営を一層推進していきます。

2021年度「新生銀行グループ リスク選好方針」(要旨)の詳細は、以下リンク先をご参照ください。

https://www.shinseibank.com/corporate/risk/pdf/ras_2021_j.pdf

※ リスクアパタイト・ステートメントとは、銀行が進んで受け入れるべきリスクについて正式かつ明確に表現したものの。

以上